

朝日の「宝物」たちのために

## 朝日地域学校運営協議会だより

令和6年5月 第1号



令和6年5月15日に、あさひ小学校を会場として令和6年度第1回目の朝日地域学校運営協議会が開催されました。本会も4年目の船出となりました。

学校運営協議会は「地域の子どもたちにどんな教育が必要かということ」を学校・家庭・地域がともに考える場で、地域とともにある学校づくりが進むとともに、より良い学校をつくるのがより良い地域づくりにもつながるというねらいで行うもの」です。（年3回の開催予定）



このおたよりは、小中学校の全保護者の皆様には文書で、そして朝日地域及び朝日地域に関わる全ての方々にも届くよう、情報を発信するためのツールの一つとしてあさひ小・朝日中それぞれのHPに掲載するものです。

さて、今回は主に「各小中学校の学校経営について」「今年度の本会の活動について」協議する場といたしました。以下に議事録を掲載いたします。

なお、今年度の学校運営協議会長は、昨年度に引き続き、地域学校協働本部コーディネーターの蛸井由美子様となりますことを重ねてご報告いたします。また、高橋孝之あさひ小PTA顧問、小野寺健朝日中PTA顧問、五十嵐孝義朝日庁舎総務企画課長がご退任。新たにあさひ小PTA会長として清野大輔様、朝日中PTA会長として菅原源太郎様、朝日庁舎総務企画課長として齋藤健一様をお迎えし、鶴岡市教育委員会より委嘱状が交付されました。

### 【協議】

#### ①令和6年度の学校経営について

- ・小中学校それぞれの学校経営方針等が承認されました。

あさひ小学校	学校教育目標：◎かるく ◎わやかで ◎たむきな あさひっ子
朝日中学校	学校教育目標：「自立」「協働」「貢献」 たくましく・優しく・賢く 主体的に生きる朝日中生

#### ②学校経営に関する質疑及び今年度の活動について

**蛸井会長** 中学校の学校目標を「貢献」としていた。子どもの方から地域へ関わりたい。地域の人が学校に関心を示し、学校と交流できるようになるためにどうするか？

**渡部純一氏** 地域の方は学校に来にくい。お茶のみサロンなどは？孫がいなくても立ち寄れる。



**山口弘美氏** 公民館に来るのにも、80歳以上の方は来るのが難しい。そんな中でどう学校に呼びのか？孫がいないと難しい。大泉地区で「てづねーたークラブ」に参加している人も少ない。

**阿部努氏** なかなか学校は敷居が高い。学校という前に地域の中で交流が増えていくようにする。地域の中で子どもたちから学校ではこんなことをやっているよと知らせていく。学校教育のねらいを押さえた上で交流を考えたい。例として「ごみO運動」は家族や世代を超えて話し合う場面が見られた。

**渡部祐子氏** 感性教育を毎年楽しみにしている。また、以前、大綱では一人の入園式にみんなが集まってきた。共同作業など目的があると来やすい。

**蛸井会長** てづねーたクラブの方を学校祭に招待することもあった。(コロナ感染症以前)

**齋藤健一氏** 感性教育講演会など、朝日地区として素晴らしい取り組み。中央コミセンでのお年寄りスマホ教室など、お年寄りに関わっていく。

**菅原邦義氏** 参観可能なものはどんどん案内を出してほしい。繰り返していくと来るようになっていくのでないか。学校に行きやすい雰囲気をつくっていくのでないか。

**菅原源太郎氏** 学校に来ていただくには、地域の方のメリットも必要。(WinWinの関係) 今、行っている活動をブラッシュアップしていくとよい。

**蛸井会長** 来た人が、来てよかったと思えることが大切なことだ。

**清野大輔氏** 朝日地区がスキー業界で注目されている。小さな地区から全国に通じる選手が出ている。スキー教室、学童スキーにも協力をいただいている。

**佐藤利浩氏** 学童スキー、小体連でも応援してもらっている。いきいき大学に1年生も出演してもらっている。部活動では「朝日中」という名を背負ってがんばろうという意識がやや薄くなってきているか。力を合わせて盛り上げたい。

**佐藤雅秀氏** 鶴岡型小中一貫教育で、9年間の育ちを見通して地域との関わりを教育計画に位置づけていく。学校に呼ぶことも地域に出て行くことも必要。学校だよりやKCT放映など地域のおじいちゃん、おばあちゃんはよく見ている。

**蛸井会長** みなさんも、1回は学校に行きましょう。てづねーたクラブで、小学校は朝の図書の貸し出しの支援はありがたい。昼休みの見守りなどなかなか進まないが、進めたい気持ちでいる。



#### 【ご指導 庄内教育事務所 齋藤社会教育主事】

地域の方にもメリットが必要という話が出ていた。山形市では、学校をオープンにして地域の方が学校の中でウォーキング(健康づくり)を行っている学校もある。学校と地域がつながり、様々な課題が解決されたり成長できたりと効果がでてくることで、互いに Happy になれる。「ふるさと」が大切なのは、人と人とのつながりを感じるから。いのちを守るためには、人と人がつながること。人を救うのは人しかいない。学校と地域がつながり、仲間を増やし、人と人とのつながりを広げて、地域の Happy へ！

以上、議事録をもとにお伝えいたしました。なお、この会議はKCTより撮影いただきました。後日紹介があるかと思しますので、そちらもご覧下さい。

今後の本会の活動にご理解とご協力、よろしくお願いいたします。

発行：朝日地域学校運営協議会事務局